



みどりと太陽のふるさと

ふるさとに伸びゆく子どもたち

ふるさとのあすの希望の子どもたち

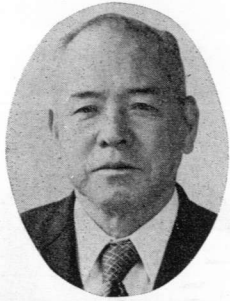
No.269 昭和49年1月号

毎月1日発行

昭和49年を迎えて

明日に飛躍するため 耐乏の生活を

町長 小野 弘



ここに輝く昭和四十九年の新春を迎えましたことは、町民のみならずともご同慶にたえません。昨年は町勢振興のためにご尽力いただきましたが、みなさんには心から厚くお礼申し上げます。この一年は、さらに志を新しくし、困難を克服しながら、郷土の建設に努力したいと思います。昭和四十八年は内外にわたって外事多難な年でしたが、四十九年はさらに多くの困難が予想されています。私たちは、過去幾度か訪れた危機を突破して今日の繁栄を築きあげているのですが、今日の状態から一大転換をはからなければこれからの日本の繁栄はないの

ではないか、そういうきびしい様相を直感しています。今こそ非常事態を宣言すべき時期ではないかと思われまふ。

最近物価の問題が急速な勢いでおたがいの生活を圧迫してしまふ。このため、政府でも民間でもその対策に腐心しているところですが、さらに物資の不足がこの物価上昇に拍車をかけることとなり、いよいよ物価問題は混乱するばかりです。さらに、昨年突発した中東戦争は、日本に対して石油の輸出を削減するという事態が起り、我が国のエネルギー供給源は全く收拾がつかない状態になりました。

もともと日本という国は、資源に乏しく、自給できるものはほとんどないといつてよい。これらの輸入に輸入できるが、いつまでも自由輸入できると考えていたことに大きな誤りがあったのです。石油問題は、産業経済ばかりでなく、福祉の面にも影響を与え、国

民生活は大きく動揺しています。今こそ国の現状を充分理解し、国民として何をなすべきかということを切実に考えるときではないかと思われまふ。

もちろん、政府の施策も誤りがあったはなりません。しかし、政府を攻撃するだけではなく、全国民が協力一致してこの難局に対処すべく、物を大事にする耐乏の生活が必要ではないかと思われまふ。

郷土に働ける場を

このような情勢の中にあつて、町政はいかにあるべきかというところで、基本的には信頼される行政を遂行することです。そのためには各種の計画を忠実に実行することにあります。すでに、現状に即しない計画はローリング式に改め、時代に即応する計画を樹立することが必要です。

本町の基幹産業は何といつても農林業です。長い間不振といわれていましたが、一昨年以来の世界食糧危機は農業に対する考え方を一変しようとしています。林産物の需要増大、物価の高騰によって林業に対する熱意も漸次向上してきました。

この機会に、農林業をすてて都会に去った人たちに帰郷してもらい、自分の郷土で働く場所を与え、農林業と調和のとれた産業としたいと念願をしています。本年中には、希望のもてる工場の誘致に成

功したいと努力をしています。交通機関の発達には道路の整備を強く要求しています。道路がよくなることは、産業も経済も文化も向上することになります。町道十一年の改良舗装が緊急の要求となります。また、物が豊かになつても人なみの生活のできない人たちが喜びを分かちあう福祉行政の推進こそ現代社会の要求する最大のものではないかと思われまふ。

豊かな人づくり

さらに大事なことは、経済成長追求のあまり忘れられようとしていく人づくり、あるいは人間性回復のことです。民主主義が定着したことはよきことですが、最近、自分に都合のよいことが民主主義であると考えたり、おたがいがゆずり合い尊敬し合つて秩序を守らねば住みよい社会はできないのに、奉仕とか犠牲とか感謝とか、そういう気風がだんだんうすれてゆく現象はなげかわしいことです。

豊かな郷土には、豊かな人間がいなければなりません。今こそ豊かな人間を育成することが最も急務であると思われまふ。

今年には町政を施行して五年目を迎えます。この機会に町政の歩みを反省し、昭和四十九年こそ明日に飛躍する大事な年としたい念願です。

点滴



希望

つい今しがたまで、家族そろつてのしく見ていた歌謡番組とは打つて違って、テレビはいま恒例の「ゆくゆく年」の放送です。妙にシーンとした画面は、どこのお寺からの中継か、ゴーンと響く鐘の音が一九七四年の年明けを告げています。▽一年の計は元日にありといわれまふ。いま鳴り終つた鐘の音に、人それぞれに深い感慨をお持ちになつたことでしょうか。正月を迎える気持ちは、子どもたちばかりでなく、家族全員、なにかしら心改まる清新な気分がわいてくるものです。▽わたしたちは、自然に恵まれた郷土を持つことに誇りを感じてはばかりでなく、美しいふるさと東郷を守り、新しい東郷町を建設しましょう。そのために、ゆく年を回顧して、新しい年を迎えたこの日を、希望の出発点としたいものです。

ありし日はひとごととのみ思ひゆるし四十の歳にいつか来にけり 牧水

年頭にのぞみ

豊かな心のふるさとを

町議会議長 三浦 治郎吉



町民のみならず、ここに新年を迎え心からお喜び申し上げます。みなさんも過ぎし日を顧みながら年頭にのぞみそれぞれの希望に向つておられることだと思います。一年の計は元日にあるといわれていますが、大切なことと存じます。我が国は、敗戦の結果数十年の苦難の道をたどり、物資不足に耐えてきました。ところが、国民

一体となつて所得倍増めざして努力した結果が、今日の目覚ましい文化的な生活環境となりました。そして、その経済力は驚異的な発展をとげ、他国のせん望の的となるようになりまして、その反動でしようか、昨年暮からエネルギー問題で生産面に生活面に大きな影響を受けています。そのようなきびしい事態の中に新年を迎えました

年頭所感

家庭は人づくりの出発点

教育長 高森 文夫



新年おめでとうございます。私は新しい年を迎えるたびにいつもきまつて胸中に浮ぶ古い昔の歌があります。それは万葉集の中にある次のような歌です。

物とは人をこれほどはつきりと区別し、しかも新しと古きを同時に肯定し、さらにそのうえ無条件に人間尊重の人生感を淡々と歌っている詩はめつたにないのではないかと思われまふ。ところで、ちかごろ「人づくり」とか「人間回復」という言葉がいたるところで叫ばれていま

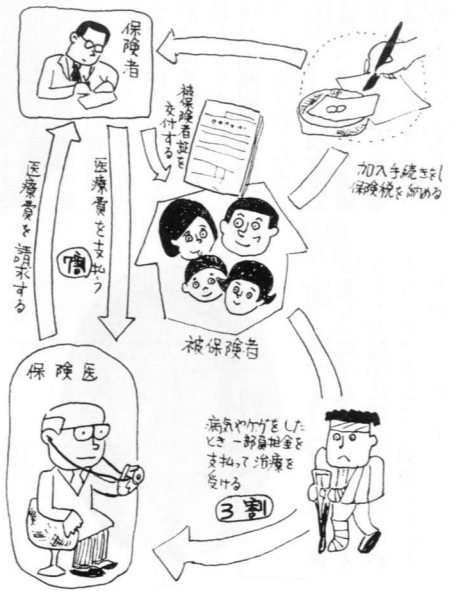
め、少しでも原点にかえり、豊かな心のふるさとを育てたいものだと思います。昨年は、そうした基調のもとに町民大会が催されましたが、このことに喜びを感じた一人です。本年も引続き第二回の町民大会が開かれることを望み、みなさんとともに、産業経済に、教育文化に、福祉行政、体力増進に一層の努力を傾けたいと存じます。私たちの町づくりのために町民のみならず、ご健康を祈念して、年頭のごあいさつとします。

が急になつたのではなく、昔も今も将来も教育の根本は「人づくり」にあることは明らかで、とであらうと思われまふ。ただ、激動する社会に対応できる「人づくり」をどのようにすすめるべきかという、大変むずかしい課題に当面して苦慮しているのが、今さらのように「人づくり」の重きがかかっているのだと思われまふ。家庭教育、学校教育、社会教育の総合的推進を精いっぱい努力ですすめていかなければならないと思われまふ。人間の基本的性格は五歳までに家庭で形成されるといわれておりますから、家庭教育がどんなに大事なものであるかを自覚することが「人づくり」の出発点だと思われまふ。そう考えると、現在学校にお

町旗の図案募集

町旗の規格は横一が五十センチ、縦一が二センチ。作品はB四判の画用紙で縮尺明示、裏面に説明文と住所、氏名、年齢、職業を記入。締切は昭和49年2月15日(当日消印有効)で、4月1日の町旗徳祭で発表するほか町報に掲載して発表する。応募は一人一点以内、作品は返却しない。また、作品は修正することがあり、採用作品の権利は東郷町に帰属する。賞金一席二万円(採用作品)提出先 東郷町役場総務課

国保のしくみ



今日、国民健康保険の医療費の伸びは著しいものがあります。今、町では四十九年度予算を検討中ですが、過去二年間の決算状況から比較してみますと、別表①のとおりになります。本年度上半期も四十七年度に比べて二〇・五%も伸びています。

この原因を考えてみますと、四十八年一月から実施されている七十歳以上のおとしよりと六十五歳以上のねたきりの人に対する医療費の本人負担分の無料化が主なものです。

町では、このように高額になる医療費を少しでも低くしようと、毎月二千件にものぼる医療機関からの請求書をまちがっていないかどうか点検しています。その内容を見てみますと、社会保険に加入しているが国民健康保険で治療をうけている人の多いことが目立

ちます。この問題は別表②でみるように、社会保険への加入離脱が増えてきたことからますます多くなってくるのが心配されます。

正しくは社会保険で支払うべき医療費を国保で支払うということになると、当然のことですが国保全体の医療費に、また保険税にも影響してくることになります。

そこで、今月号から「国保だより」を掲載しますので、医療費と保険税の関係を理解していただき、国保事業の適正な運営にご協力くださいますようお願いいたします。

健康保険とは 相互扶助の精神

わたしたちは、いつどんなときに病気をし、ケガをするかわかりません。病気がケガをしたときはお医者さんの治療を受けます。治

療を受ければ、当然お金がかかります。それがいやだからといってあるいは、そのときお金がないという理由で、治療を受けなければひとりひとりの幸せも、社会の発展も維持できなくなります。

そういう不幸な事態をさけるために、日ごろからそれぞれの収入に応じてお金を出し合い、イザというときにはそこから医療費を出していけば安心だという、お互いに助け合おうという考え方が生まれました。いわゆる「相互扶助」の考え方です。こういう理念にもとづいて制度化されてきたのが「医療保険」です。

国民皆保険の制度

この制度を維持していくためには、国民のすべてが加入していなければなりません。つまりわが国の医療保険は、国民の強制加入を前提としてなりたっているわけです。ですから「病氣などしたこともない」というような理由で保険に加入しないわけにはいかないのです。

健康保険には、いろいろな種類があります。それらをつくるために「医療保険」といっています。が、国民健康保険もその一つです。

この医療保険は、地域保険と職域保険とに大きく分けられます。職域保険は職域別にまた分けられますが、地域保険は市町村の住民

を対象としたものです。これを「国民健康保険」とよびます。

本人の窓口負担三割

国民健康保険のことを略して国保とよんでいます。この国保の事業を運営するものを保険者といわたりましたの住んでいる町がこれにあたります。

そして、職域の保険にはいっていない人はすべて、この国保に加入しなければならず、その加入者を被保険者といえます。

被保険者は、保険税を納める義務を負います。この保険税は、被保険者の一年間の収入や家族の

員などを基礎に決められます。被保険者になる手続きをするとき国民健康保険被保険者証というカードをもらいます。これをふつう保険証とよんでいますが、わたしたちが病気がケガをしたときにはこれを持ってお医者さんに行くわけです。

この保険証でかかるお医者さんを保険医（ほとんど大部分の病院や診療所）といいます。保険証を窓口に出して診療を受けると、そのときかかった診療費全体の三割を患者は負担しなければなりません。これを一部負担といいますが、残りの七割は保険者が負担します。

① 医療費の比較

年度	1カ月平均総医療費	年間1人当り平均医療費	4月～9月1カ月平均医療費
46年度	4,574,000	14,663	—
47 "	5,964,000	19,659	5,775,000
48 "	—	—	6,963,000
対前年比	24.4%アップ	34.0%アップ	20.5%アップ

③ 総届出件数に対する割合

年度	届出総件数		転入	転出	加入	脱	その他
	件数	割合					
43年度	1,440	100%	45.2%	29.5%	25.3%		
44 "	1,383	"	35.8%	38.4%	25.8%		
45 "	1,551	"	40.1%	37.9%	22.0%		
46 "	1,465	"	29.0%	43.9%	27.1%		
47 "	1,227	"	26.4%	50.4%	23.2%		

子どもと親を考える

県指定「少年教育研究公開」をおえて

未来をなう児童生徒の健全育成のためには、学校のみならず、家庭や社会が有機的な連携を保ちながら、それぞれの機能を生かして教育にあたるべきです。

しかし現実には、学校教育に依存している面が大きく、家庭・社会・学校が一体となって教育活動をすすめるという、基本的な姿勢を強力に推進することが、当面の課題となっています。

本町では、昭和四十七年と四十

八年の二カ年にわたって、従来、P・T・Aや婦人会などが育成してきた子ども会、親子会から、自治公民館を中心とした地域ぐるみ町ぐるみの育成会を組織するとともに、自然な子ども集団を「あすをひらく自主的な子ども会」へ脱皮する方向に取り組みました。そして十二月九日、中央公民館に二百五十四人の参加者を迎えて県指定研究公開を開きました。

公開日程は型通り行なわれまし

たが参加者は、全体会、分科会を通じて「現実の子どもをどう組織活動させるか」「そのためには親として地域住民として何をしたらよいか」「行政はどんな方策を持つたらよいか」など、いろいろな問題を抱えて白熱的な討議をかさねました。それぞれの胸の中に、「今こそ親が住民がそれぞれの立場で立ち上がり、お互いに手を取り合って、あすをひらく子どもたちに積極的に手をさしのべなければならぬ」という決意をひめて、夕闇せまる会場から三々五々家路につきましました。

全体を通して、今後の課題とされる点は、要約すると次の通りです。

- 1、一般的には少年団体は必要
- 2、子ども会、親子会など育成してきた子ども会、親子会から、自治公民館を中心とした地域ぐるみ町ぐるみの育成会を組織するとともに、自然な子ども集団を「あすをひらく自主的な子ども会」へ脱皮する方向に取り組みました。
- 3、中学生を常時参加させる方法。
- 4、有志指導者（ボランティア）の発掘の困難さと指導者の指導の限界、多忙さ。
- 5、勤務時間等の制約による教師の協力不十分。
- 6、育成会員、指導者の卒先垂範の不足。
- 7、もっと日常活動をする集団に育てる。
- 8、遊び場、集会所など施設設備（教材を含めて）の不足
- 9、経済面の裏付け

だが、自分の子は例外であるという親のエゴイズムが、子ども会の活動をはばんでいる。組織も活動もできない。

3、中学生を常時参加させる方法。

4、有志指導者（ボランティア）の発掘の困難さと指導者の指導の限界、多忙さ。

5、勤務時間等の制約による教師の協力不十分。

6、育成会員、指導者の卒先垂範の不足。

7、もっと日常活動をする集団に育てる。

8、遊び場、集会所など施設設備（教材を含めて）の不足

9、経済面の裏付け

相続と税金

日本人の平均寿命は男性が七十一歳、女性が七十六歳だということです。日本も長寿国の仲間入りできました。

ところで、人の寿命と関係あるものに相続税の問題があります。相続税はそうたびたびかかる税金ではありませんので、いったいどれくらいかかるのかちょっと気になる問題です。

そこで、ここまでなら税金はかからないという遺産額を調べてみましょう。

例えば、婚姻期間が二十年の奥さんと子ども二人、合せて三人が相続人の場合は千五百六十万円まで、また同じく奥さんと子ども三人の合せて四人が相続人の場合は千六百八十万円までは税金はかかりません。

なお、婚姻期間が十年以上の奥さんが申告期限内に協議により遺産分割をして相続したときは、遺産額三千万円までについては奥さんに限って相続税を納めなくてもよいことになっています。

また、相続財産の一部を県や町などの地方公共団体、公益事業などに寄付しますとその分だけは税

金はかかりません。

ところで、相続した財産が土地や不動産などのために相続税を一度に納めることができないときもあると思われま。そのようなときは五年以内の分割払いもできますので税務署にご相談ください。

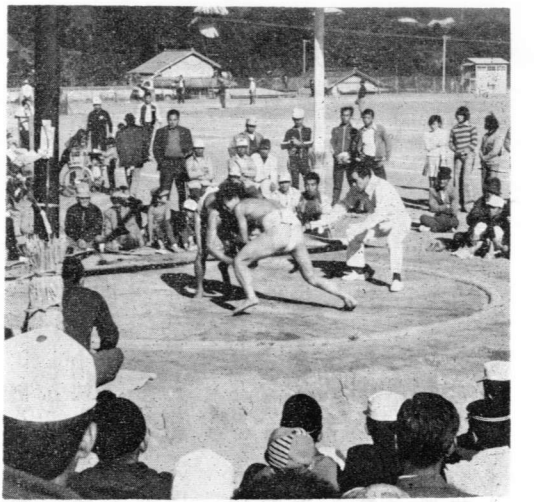
確定申告のおねがい

源泉還付のための確定申告は、翌年一月一日以降はいつでも提出できることになっていますが、確定申告を希望する人は早く申告し早目に還付をうけるようにしてください。なお、還付手続きの迅速

正確化を図るため、あなたの住所の郵便番号、受取り局名を忘れず記入してください。

また、税務署では二月中旬から三月中旬にかけては確定申告事務のため非常にふくそうします。このため、この期間に納税証明の交付申請をされても、すぐに証明できないこともありますので、二月二十五日から三月二十日ごろの期間はさけていただくようご協力をおねがいます。

延岡市東本小路
延岡税務署
延岡 ② 三三〇一



文化祭で土俵開き
町相撲連盟が発足

我が国の伝統的なスポーツの一つである相撲は、本町でも以前は活発でしたが、近年はまったく影をひそめていました。

たまたま、本町の出身で県体に優勝、国体に出場した中田仁美さんがあるところから、体力に自身の指導をうけようということになりました。仲深の甲斐善重郎さんの熱心な世話もあって、昨年の八月から町営グラウンドの一隅に即製の土俵をつくり、毎夜八時から十時まできびしい練習を続け、九月三十日の県体に出場しました。その結果、軽量級で高森和茂君、中量級で藤井柳太郎君、重量級で那須千秋君が三位に入賞し、団体でも四位になりました。

同時に後継者の育成と相撲を通じて明朗で不屈の体力と精神力を培養しようという目的で、東郷町相撲連盟を結成しました。連盟長に甲斐善重郎さん、監督兼コーチに中田仁美さんが就任しました。

今年度の文化祭には、昭和二十六年以来絶えて久しくみられなかった、東郷町相撲選手権第一回大会が十一月二十三日に開催されました。この日は相撲部員の奉仕で作られた土俵開きも兼ねていたため、延岡市旭化成はじめ日向市、門川町からも力士十五人が参加して、大会は盛りあがりました。また、町内の相撲ファン約三百人もつめかけ熱心に応援をしていました。

あなたには四十年後に何をしていますか？ このあまりに遠い将来に、ひとつのショックな事実があるのです。

20歳になったら
国民年金に加入を

- ▽選手権優勝 浜地喜美男(迫野内) 二位 那須千秋(坪谷)
- 三位 山口幸善(坪谷)
- ▽三人抜 那須千秋、山口幸善、浜地喜美男、藤井柳太郎(羽坂)
- 田原一義(田野)
- ▽五人抜 那須千秋

郵政省では、国民のみなさんの保険需要にこたえるため、加入者サービスのひとつとして、一月一日から、安い掛金で死亡時に高額の保険金を支払う掛捨ての「定期保険」と病气やケガも保障する「疾病傷害特約」を新発売しました。

▽定期保険

- ① 保険種類と加入年齢
 - 五年満期 十五歳～五十五歳
 - 十年満期 十五歳～五十歳
- ② 保険期間中に被保険者が死亡したときに保険金を支払います。
- ③ 保険料は加入年齢によって異なりますが、養老保険の保険料に比べて安くなっています。
- ▽ 疾病傷害特約
 - 疾病傷害特約で支払う保険金は

次のとおりです。

- ① 死亡一時金
 - 傷害により死亡したときは保険金の十割
- ② 傷害保険金
 - 傷害により身体に一定の障害を生じたときは、その程度に応じて保険金の一分から十割
- ③ 入院保険金
 - 疾病で二十日以上、または傷

害で五日以上入院したときはその入院日数に応じて一日につき保険金の千分の十五

なお、入院中に一定の手術を受けたときは二十日を限度として入院保険金と同一の額を加算されます。

山陰郵便局
坪谷郵便局

電話申込みは番号で
山陰郵便局は電話局とちがって番号案内を専門にする交換手がいまないので、加入者から屋号や名前などで電話を申し込まれると交換をしながら番号を調べなければなりません。このため通話がこんで忙しい時などは交換作業に支障をきたし、他の加入者にも応待が遅れることにもなりますので、電話をかける時は必ず電話番号で申し込んでください。

また、農集電話から役場や農協病院などに電話する時は、農集電話もありませんのでご利用ください。なお、通話が終了したら必ず終話信号をしてください。

これから社会へ出るために勉強している人、花嫁修業中の人、青春を十分に味わっているあなたが六十歳になるころ、日本は四人に一人が老人という「高齢社会」をむかえます。この時のためにどうしたらよいでしょうか。

そこで、二十歳から六十歳までの間、すべての人が国民年金に加入します。このさきやかな行為があなたの将来をささえ、いま老人である人が年金をもらうのに役に立ちます。

かけ金は 一カ月の保険料は九百円です。国も四百五十円出して

くれまます。(附加年金のかけ金はさらに四百円納入します)。

年金がふえます 国民年金は物価や生活水準が上れば、引上げられます。一度年度間に5%以上の物価上昇があれば、上昇した率を基準にして年金額がスライドされます。

会社勤めをすれば 国民年金に加入していた人が会社勤めをしたら、厚生年金に加入します。厚生年金などの公的年金に加入している人は、国民年金には加入できません。

加入手続きは 町役場福祉係で手続きをしてください。

北海道の青年と交流

幕別町から11人が来町

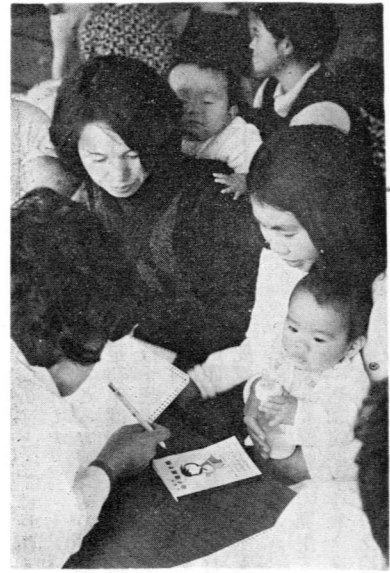


北海道幕別町には北海道で唯一の牧水歌碑があるということから本町と姉妹町の縁結びをしようという話があります。十一月には幕別町から名産のジャガイモが送られて来ましたが、本町からはミカンをお礼に送りました。

十一月二十八日には、同町の青年研修生十一人(男子八人、女子三人)が来町しました。町青協の会員宅に分宿し、町内青年たちと交流を深めました。二十九日には町内を案内し、夜は中央公民館で町長も出席して相互の町についての意見交換をしました。特に、地域の発展と青年の果たす役割、位置づけ、学習についてが話題の中心となっていました。



赤ちゃんの検診



十二月七日に町老人福祉館で乳児検診があり四十四人の乳児が検診をうけました。

この日は、日向保健所の所長はじめ保健婦の担当で、内診、体位測定、育児などの相談や指導を行ないました。

近年は乳児検診などにより乳児の死亡率は低下していますが、反面、共働きによる育児の悩みを持つ母親も増えているようです。

身長や体重など標準をオーバーする乳児がたくさんいましたが、検診や相談をうける母親のまなざしは真剣そのものでした。

町では、このほかにも多くの検診を実施していますので、該当者はもれなく受診してください。

郷土のあゆみ (13)

塩月儀市

十 江戸時代(二)

延慶世鑑(先月号より)

「久五郎又次郎関之允庄之允角之允与一兵衛太郎助コレハ流罪ナリ。其余ノ者ハ悉ク御赦免トシ郡代梶田十郎左衛門代官大崎久左衛門ハ公儀ヨリ追放ナリ其秋將軍家ヨリ永純郷ニ在國中領内ノ騒動宣シカラザルノ上ニテ城地石上ラレ重テ無城ノ地ニテ本高五万石下サルベキ由ニテ逼塞ナリ。翌年元禄五年壬申春越後糸魚川ニテ五万石ヲ賜リ移封ナリ。其年ヨリ西戌ノ年マデニ家中ノ輩引越シノ光景見ル哀レヲ催セリ其故ハ永純郷近年金銀不足ノ上越後知行ノ納リ延岡ノ半納モアルマジトテ暇ヲ賜ルモノ数百人延岡ニ捨テ置カレ諸人数半分余リ越後ニ引越ナリ

延岡ヨリ糸魚川マデ海陸三百里サシモ親愛ノ父子兄弟モ別レテハ二度相見ルノ思ヒヲ絶テ便リモ稀ナルベシト其悲ミ云ハン方ナシ。先達テ越後ニ往キシ人々モ嘆キハヤマズト聞キ

あとさきの涙くらべて見るならば糸魚川にはおとらじものを

クチズガト口号ミ遣シケレバ皆人味気ナキ思ヒヲナセリ嗚呼領主一人ノ

所為ニヨツテ下諸民ノ悲歎タチ所ニワカルコト恐ルベシ慎ムベシ」

有馬氏が糸魚川に転封になりその後三浦氏、三浦氏の後に牧野氏、牧野氏の後に内藤氏が藩主になりました。

内藤氏の藩政組織は郡の長官が郡奉行(郡代) 分領の統治に代官をおきました。地方組織は村を幾つか集めて組とし、組に大庄屋をおきその下に各村に庄屋をおきました。村の下に門があり、門は徴税の単位です。

本町の八重原は田代の大庄屋の支配であり、山陰村、坪谷村下三ヶ村は山陰組で山陰に大庄屋がいました。後坪谷村と下三ヶ村は幕領地となりました。

幕領地には門はないので本町の門は寺迫、福瀬、小野田、追野内、鶴野内、田野、羽坂、仲瀬、八重原、地内でした。

庄屋の下に年寄、百姓代があり、その下役に筆取と小触がいました。筆取は書記で小触は庄屋の命を伝える者です。この外門に弁指という役員もいました。門の下に組がありました。組は豊臣氏によって始められ、徳川氏が継いで強化し、納税をはじめすべての生活に連帯性をもちました。組には組頭がいました。

お知らせ



児童手当制度の支給範囲広まる

昭和四十七年一月一日からはじまった児童手当制度もこととして三年目を迎えました。この児童手当は、満十八歳未満の児童を三人以上監護し、これらの児童と生計を同じくするその父または母に対して三人目以下の児童（義務教育終

了前の子ども）に月額三千円が支給されます。ところで、支給の対象児童は発足初年度は五歳未満、第二年度目は十歳未満の児童というように段階的に拡大され、いよいよことしの四月一日から義務教育終了前の児童までとなり、完全支給されることになりました。

新しく受給権の発生する人は児童手当認定請求手続きを、また、すでに受給中の人で支給対象児童がふえる場合は児童手当額改定請求の手続きをしてください。

（注意）義務教育終了前とは十五歳に達した日の属する学年の末日以前の児童をいう。また、十五歳に達した日の属する学年の末日以後も引続いて中学校、盲学校、ろう学校もしくは養護学校の中学部

に在学する児童で十八歳未満であればよい。なお、中学校などを卒業して就職していても、十八歳未満の児童三人以上の数に算入できること）

一、受付期間 一月十日から三月三十一日まで

二、場所 役場住民課

三、持参するもの 印章、被保険者証など

15日は成人の日

一月十五日は「成人の日」。新しく成人となる人たちをみなさんとともに祝福してあげましょう。

ことし町内で成人式を迎える人は、昭和二十八年四月二日から二十九年四月一日までの間に出生した人で、十二月十五日現在で五十人います。

一月十五日は、町中央公民館で成人式を行います。受付が午前九時から九時三十分までです。

町教育委員会では、住民基本台帳により該当者を調べ、区長に照会して名簿を作成していますが、その他に本町の成人式に参加したい人は一月六日必着で、町教育委員会事務局へ申込んでください。

善意のともしび

◆仲深区の若杉喜長さんから故幸人さんの忌明けに◆小野田区の本多茂雄さんから故石田元吉さん

今月の納税

町 県 民 税 四期
国民健康保険税 六期

納 期 一 月 三 十 一 日

出生 おめでとう

赤ちゃんの名	父の名	部落
山口玲名	和行	鶴野内
橋口雅美	美敏	寺迫
田中和美	康則	八重原
塩月愛梯	二小	野田
平瀬明則	行福	瀬
橋口卓之	克義	寺迫
田村健二	九州男	小野田
黒木孝代	時雄	寺迫
中田美鶴	男鶴	野内
黒木透子	正人	寺迫
宮崎修昭	弘	鶴野内

結婚 おめでとう

氏名	部落
海野栄子	越表
三黒安起	鶴野内
三黒浦木	鶴野内
鈴橋清善	寺迫
木口清孝	日向市

死亡 ご冥福を祈ります

氏名	年令	部落
塩月家栄	四九	鶴野内
若杉幸人	四〇	仲深
石田元吉	八三	小野田
矢野進	六二	坪谷

車で年賀が多くなりました

さあ、あいつは後にしてとにかくどちらかにきめてくれ



戸籍たより

十一月届出分